

さいたま市長定例記者会見

令和元年6月21日（金曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
それでは、記者クラブ幹事社のテレビ埼玉さん、進行をよろしく願い
いたします。

○テレビ埼玉 6月の幹事社を務めますテレビ埼玉です。よろしくお願いいたします。
それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いい
たします。

○ 市 長 皆さん、こんにちは。

18日夜に起きました山形県沖を震源とする地震につきまして、被災さ
れた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、近年異常気象や地震に伴う災害が多く発生しております。さいた
ま市は比較的災害の少ないまちと言われておりますが、気を緩めることな
く、引き続き、誰もが安心・安全に暮らせる災害に強いまちづくりを進め
てまいります。

梅雨に入りまして、はっきりしない天気が続いていますが、暑い時期の
オアシスとして多くの方々にご利用いただいております市役所東側での
「水の流れる段床」を、今年も7月1日から始めます。子どもたちが元気
に水遊びをしている様子を見ますと、私たちもうれしい気持ちになっ
てきます。安全面、また衛生面には十分気をつけて実施をしていきたい
と思います。

そして、「まるまるひがしにほん」では明後日23日まで「宮城のほや祭
りフェア」が、そして29日からは長野県上田市の「上田市へ行こう」と
いうイベントが開催されます。上田市が誇る5つの酒蔵のお酒を試飲、販
売するほか、忍者衣装の試着や手裏剣投げ体験など、子どもも楽しめる内
容もございますので、こちらも取材の方をお願いしたいと思います。

議題：(仮称) G C Sプラン骨子案のパブリック・コメントを実施します

それでは、本日の議題に移らせていただきます。本日の議題であります
が、大宮駅グランドセントラルステーション化構想の実現に向け「(仮称)
G C Sプラン骨子案のパブリック・コメントを実施します」について説明
させていただきます。

昨年7月に大宮駅グランドセントラルステーション化構想を策定しまし
た。このG C S構想では、「東日本の玄関口として東日本全体の発展を牽
引する」、また「東京一極集中に伴う日本経済の災害リスク軽減とともに
災害時のバックアップ機能を果たす」、「これからの働き方やライフスタ
イルを先導・提案し、市域全体に波及させる」という、これらの3つの将
来像の実現を目指して進めてまいります。

また、これらの将来像を実現していくために都市機能をはじめとした
5つの取組内容を整理いたしました。G C S構想の早期実現に向けまして
5つの取組内容を実現可能なものにしていくため、(仮称) G C Sプラン
の検討を現在進めております。このG C Sプランは、まちづくりガイドラ
インと構想実現案、駅改良計画、道路整備計画などが含まれております。

現在G C Sプランの骨子案を取りまとめたところでございます。広く皆
様からのご意見を聞き、市民や事業者などがさらに共感できるプランにブ
ラッシュアップしていくためにパブリック・コメントを今回実施させてい
ただきます。G C Sプラン骨子案の内容をまちづくりガイドラインから順
次説明をしていきます。

まず、まちづくりガイドラインについてでございます。これは、基盤整
備、また民間開発を実施する際のルール等を定め、公民が連携して良質な
空間を形成することを目的に作成するものでございます。大宮の風土や歴
史、社会経済状況の変化の中のまちづくりの視点を意識し、社会基盤分野
など3つのまちづくりの戦略と回遊性や交通などの6つの都市空間形成の
目標を整理してございます。今後は、数値目標や、民間側・公共側の役割
分担の明示、またインセンティブ等について具体的に検討していく考えで
ございます。

次に、構想実現案を説明します。構想実現案につきましては、交通広場

や（仮称）アーバン・パレットの配置に関して2つの案から優位な案を整理しました。優位な案であります構想実現案第1案は、公共交通の利便性やレイアウトの効率性の視点から、中地区を中心に活用し、交通広場を配置した案でございます。今後は、この後説明する駅改良計画の検討とあわせて、地区への干渉低減や土地の有効活用を意識して構想実現案の検討を深度化してまいります。

現時点で作成したイメージパースをご覧ください。このパースは、第1案をもとに現在の銀座通りから駅前広場の方向を見たものでございます。大宮らしさを表現したランドマークとなるよう、大屋根、また多様な交流を促す人が集う空間となる（仮称）アーバン・パレットの整備及び、大宮の魅力を高める良質な空間形成を目指しております。

次に、パース②でございますが、こちらは東口駅前の中央通りから駅のほうに向かって見たところでございます。駅の近い位置にバスやタクシーの乗降場を整備することによりまして、利用者の利便性や安全性の向上を図ることとしております。駅の東口から直線的に出られる動線を確保し、駅からまち、まちからまちへスムーズに移動ができる歩行動線をつくることとしております。

次に、道路整備計画についてご説明させていただきます。道路整備計画は、開発に伴い必要となる道路を整理したものでございます。交通実態調査によりまして、中山道などを通過する交通量を把握し、将来交通量を推計しました。混雑の緩和効果が認められる路線として、南北方向は現在の中山道の地下にバイパスを整備する案と、東西方向につきましては大宮岩槻線を4車線化する案が抽出されました。今後整備費や事業期間等の精査を行いまして、実現の可能性を検証することとしております。

続きまして、交通需要マネジメントについてご説明させていただきます。道路整備により一定の混雑緩和の効果が期待できますが、交通混雑が一部に残ることにもなります。また、道路整備には相当な時間がかかりますので、ソフト施策による対応も必要であると考えております。開発街区の駐車場の一部を外縁部のFRINGE駐車場に置きかえるなど、駐車場マネジメントの展開を含めた混雑緩和方策を検討していくつもりでございます。

次に、駅改良計画についてご説明いたします。駅改良計画の方針として、

東武大宮駅は一定程度南進、南のほうに延びてくるということで、ホームの拡幅、改良やホームドアを設置していくこと、また大宮の交通結節点として機能向上を図るため、東武野田線（東武アーバンパークライン）を1面2線から2面3線に鉄道機能の増強を目指すことなど整理しております。

この方針を踏まえて、東武線の南進距離に応じてこの2つの案を作成しました。左側の第①案につきましては、新東西通路のやや南側まで東武線が南進をしてきているパターンでございます。そして、第②案は中央通路の位置まで東武線を南進させたというパターンであります。この2案を検討してきた結果、案①の青色に着色をした、この部分でございますけれども、「公共的空間等の検討エリア」の有効活用が図られた場合、駅前空間整備や周辺街区のまちづくり計画の自由度を高めることになるということで、案①を軸として今後の検討の深度化、また鉄道事業者との協議を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、こちらは大宮駅東口と西口をつないで鉄道の乗換え改善に寄与する新しい東西通路をイメージしたパースでございます。手前側が東口、奥が西口になります。新東西通路には、鉄道とともに発展してきた大宮を象徴するような鉄道を眺めながら楽しく過ごせる視点場をつくることとしております。こうしたイメージパースについては、より市民の方々にご理解をいただけるよう、今年度さらにわかりやすいものを作成していきたいと考えております。

最後に、今後のスケジュールについてでございます。この（仮称）GCSプラン骨子案についてパブリック・コメントを実施します。期間は7月3日から8月2日金曜日まででございます。約1カ月間となります。市ホームページや各区役所、図書館、コミュニティセンターなどで公表をしてまいります。広く市民の皆様のご意見を頂戴していきたいと考えております。その後いただいた意見も参考にしながらプランのブラッシュアップを進め、今年度末にはGCSプラン案として取りまとめ、再度パブリック・コメントを経て、2020年の秋ごろにはGCSプランとして策定をしていく予定でございます。

引き続き、大宮グランドセントラルステーション推進会議や部会での議論を行いながら、各開発街区の地権者の方々、また鉄道事業者の方々など、

それぞれの主体の皆様との合意形成を進め、構想の実現に向けて、私自身がリーダーシップをとって進めていきたいと考えております。

私からの説明は以上でございます。

議題に関する質問について

- テレビ埼玉 それでは、市長からの説明について質問がある社はお願いいたします。
- 共同通信 共同通信と申します。
- 今最後に清水市長がリーダーシップをとってとおっしゃいましたが、まだこの骨子案の段階ではありますけれども、全体としてこれ幾らぐらいの金額になる、それをどのように折半というか、になるものかイメージとしてもうありますでしょうか。
- 市 長 現時点で言いますと、事業費を算出するには、事業の規模、あるいは事業手法など、まだ詳細の検討をしていった上でないと明確なものが出てこないと思っておりますので、それらの検討が進んだ段階でおおむね事業費も算出できるのではないかと考えております。もう少しお時間をいただきたいと思えます。
- 共同通信 もう一点、玄関口としてというのは、何となくパースを見ると何かわかるような気もするのですが、例えば災害時のバックアップ機能だとか、あとライフスタイルの提案というようなことと今の計画、もう少しどのあたりでそういうことを実現されようとしているのでしょうか。
- 市 長 災害時のバックアップのところでは、「都市機能」のところ、そこで例えばエネルギーや電力の問題も含めてどのようにバックアップ体制をとっていくか、そういったところは「都市機能」の中で盛り込んでおります。また、それを今後さらに詳細に、どういうものをつくっていくかということをもとめていくことになると思えます。
- それから、新しいライフスタイルのところについては、これも「都市機能」になります。「都市機能」の中でこういった形でそれを発信する機能を持っていくかは、今後また段階を追って詳細に計画をしていくことになると思えます。

幹事社質問：

①ジェトロ市内事務所設置に対する期待について

②放課後児童クラブの待機児童数について

○テレビ埼玉

それでは、幹事社として代表質問をさせていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしくお願いいたします。

ジェトロ・日本貿易振興機構の事務所が11月に大宮にできて、市も運営費を負担するということですが、市としてどのようなことを期待されますか。2点目が、本年度の放課後児童クラブの待機児童数についての受け止めと、それに対しての対策をどのように考えているか教えてください。

○市長

それでは、幹事社の質問に順次お答えしたいと思います。

まず初めに、ジェトロ・日本貿易振興機構の事務所の埼玉県への設置、11月に大宮に設置されるということですが、それへの期待ということでお答えを申し上げたいと思います。大宮駅からすぐ近くのソニックシティの地下1階に設置が予定されておりまして、これまでジェトロへ行く際には都内に行っておりましたので、それに比べて県内の企業の利便性が上がることはもちろんですけれども、市内企業の利便性が非常によい立地につくられるということで、市内企業への紹介もスムーズになり、本市としてもよりスピード感を持って行政課題に取り組めるのではないかと歓迎をしたいと思っております。

また、ジェトロが持っております国内外の多様なネットワーク、またノウハウに加えまして、先端産業分野の専門家が配置されることとなりますので、このようなハード・ソフト両面からなる、さまざまな資源を活用していくことで、本市が現在注力をしております医療分野、医療ものづくり都市構想ということで関連施策を進めておりますが、そういった分野をはじめ、多様な産業分野において、市内企業に向けた海外販路の開拓であるとか、あるいは海外進出の支援を行うことができると期待をしているところです。

またさらには、外資系企業の誘致など対日投資の支援も強化されることから、地域産業への生産波及、また技術移転効果、あるいは雇用機会の増大、また自治体の税収増など、地域経済の発展に寄与するものと期待をしているところです。本市としても、このジェトロ埼玉が設置されることに

よって、より一層の連携強化を図っていくことができると考えております。外資系企業誘致について、いち早く情報入手できるように、情報交換をしっかり行っていきたいと考えております。

続きまして、2つ目の放課後児童クラブの待機児童数についてでございます。本市では、保護者が仕事などのために放課後等に留守家庭となる世帯の小学生を対象として、家庭にかわる生活の場、遊びの場を確保して児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援するため、現在新設の美園北小学校を含む市内104校の全ての小学校区におきまして、公設、また民設のいずれか、または両方の放課後児童クラブを合計266カ所で設置をしております。

今年度の放課後児童クラブの待機児童数につきましては、4月1日現在、前年同月から13人増の392人となりました。4月までの1年間で19カ所開設するなど、民設放課後児童クラブの積極的な整備により、受入可能児童数を692人拡大しましたが、放課後児童クラブの利用を希望する世帯も年々増加しており、入室児童数は前年同月と比べて728人増加し、過去最大の1万1,350人となっております。これは、保育所と同様に、共働き家庭の増加など、社会環境の変化による全体的な需要の高まりが原因と考えております。

放課後児童クラブの待機児童は、受入対象学年が6年生まで拡大した平成27年度の制度改正により、一時698人と増大しましたが、この間こうした民設の放課後児童クラブの積極的な整備によって年々減少傾向にございました。しかし、今年度わずかではありますけれども、増加する結果となったことについては、子育て世代における需要の高まりを考えると、非常に深刻な状況であると危機感を感じているところであります。

対策としては、今年4月から(民設放課後児童クラブの)運営委託料のうち、家賃補助を一部拡充しているところですが、引き続き民間物件の活用による施設確保のための支援を継続し、民設放課後児童クラブのさらなる増設によって、今年4月の拡大分692人以上の整備を来年度も目指して待機児童の解消に取り組んでまいります。

またあわせて、しあわせ倍増プラン2017でも掲げておりますとおり余裕教室を含めた学校施設の活用についても積極的に推進し、子育て世代

が安心して就労できる環境を提供してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○テレビ埼玉

ありがとうございました。

それでは、代表質問の説明に関して質問がある方はマイクを使用して質問してください。

それでは、そのほかに質問がある方はお願いいたします。

その他：埼玉県知事選挙等について

○ 共同通信

共同通信です。

既にコメントを一度出していただきましたが、上田知事が退任、不出馬を表明されて、この16年の県政に対する受けとめと、あと知事選に関して上田さんは大野さんに期待したいとおっしゃっていますが、清水さんとしてどなたか支援をされるご意向はあるでしょうか、教えてください。

○ 市 長

まず、上田知事の4期16年についての評価についてのご質問にお答えをしたいと思います。

現在も全国知事会の会長として、地方分権、あるいは地方創生の推進にまさに先頭に立って取り組んでいただいたと認識をしています。また、埼玉県知事として県政の課題解決に向けた努力をされ、全国トップクラスの成長力を持つ県へ成長させた、この4期16年の実績に対して県民の一人として高く評価をしております。

これまで埼玉県とさいたま市はさまざまな行政課題について連携して取り組んできました。この場を借りて、上田知事のご協力とご尽力に対して心から感謝を申し上げたいと思います。

それから、2つ目のどの候補を応援するのかということですが、立候補予定者の考え方、また政策が現在まだ表明されておられませんので、現時点ではコメントすることについては差し控えさせていただきたいと思えます。

基本的には、立候補予定者の皆様がさまざまな機会を捉えて、ぜひご自身の考え、目指すべき埼玉県の姿、これから少子高齢化ということで厳しい時代を迎えてくるわけでありませけれども、その方向性をしっかり明らかにしていただくとともに、具体的な政策をしっかりと打ち出されていて、この選挙戦を通じて議論を深めていただきたい。県民の皆さんに広

く理解してもらうように努めていただきたいと思います。

- 毎日新聞 毎日新聞です。
先ほどの関連なのですが、政策が出そろったら、市長は支援を打ち出すと、何か明確にするということでしょうか、支持を。
- 市長 打ち出す可能性もありますし、あるいは打ち出さなく、見守るという可能性もあると思います。それは、現時点では何とも申し上げられません。
- 共同通信 同じく参議院選挙なのですが、先日熊谷さんのパーティーでもご挨拶されていたかと思うのですが、熊谷さんについて何らかの支援をしようかというふうなお考えはあるのでしょうか。
- 市長 参議院選挙については、選挙そのものの対応についてはまだ決めてはおりませんが、その前の政治活動については、これまでさいたま市政の中でお世話になってきた方々、これは熊谷さんに限らずお世話になってきた方々から要請があれば、できる限り協力はしていきたいと思っています。
選挙戦の中でも、恐らくそういう考え方の中で、スケジュール等限られた中ではありますけれども、さいたま市政発展のために協力をいただいていた方々には、そういう協力はしていこうという考え方を持っています。

その他：廃プラスチック問題について①

- 日本経済新聞 日経新聞と申します。
大分話題が変わってしまうのですが、環境省、ちょうど1カ月前に環境省のほうから、海外に輸出できなくなった産業廃棄物の廃プラスチックについて、自治体のほうで処理を受け入れることを検討してほしいというような要請の通知を出したというふうに聞いております。
この環境省の通知の要請を受け入れる考えが今の時点であるのかどうか、お聞かせいただければと思います。
- 市長 それでは、ただいまのご質問にお答えしたいと思います。
現在、市の一般廃棄物の焼却施設は4施設稼働してございます。これらの施設で、産業廃棄物であります廃プラスチック類を受け入れることについてでございますが、処理能力的にも、また技術的にも現在課題が多いという認識を持っています。
本来、産業廃棄物は排出事業者の処理責任のもとに、広域的に民間の産

業廃棄物処理施設で処理されるものであると考えておりますが、今回環境省からそういった要請ということもございました。

今後受け入れの可否については、市内の廃プラスチック類の処理状況を見きわめながら、その可能性等々について検討していきたいと思っておりますし、また国、県ともあわせて協議をしていく必要があると考えております。

その他：災害時行方不明者等の氏名公表について

○ 共同通信

共同通信です。

今朝、新聞報道で、大規模災害で行方不明者、死者が出たときに、氏名を公表するか否かというところで、知事会として国にガイドラインを要望するような話が出ているというのがありまして、昨年の西日本の水害であるとか、こちらでいうと常総水害であるとか、都度自治体の長が判断を悩ませてきたというようなことがあって、清水市長も政令市の長として、そういう判断を迫られる可能性がないとは言えないと思うのですが、それについて個人情報保護法との兼ね合いで、どのように考えていらっしゃるでしょうか。

○ 市長

ご案内のとおり、今私たちも個人情報保護との関係があるので、まだ明確な基準について持っている状況ではありません。ただ、今後そういったときに安否確認をされたいという方々もいらっしゃると思いますし、その中でどういったケースで、どういった情報まで出せるのかどうかということについては、やはり検討していかなければいけない大きな課題だと思っておりますし、それはもちろんさいたま市だけでというよりは、できれば全国的な、統一的なルールのもとにというほうが望ましいと思っております。

いずれにしましても、市としてもどうすべきかということについては、検討していきたいと思っております。

その他：廃プラスチック問題について②

○日本経済新聞

先ほどの廃プラの話にちょっと戻ってしまうのですが、今ちょっと課題が、能力的にも課題があるということだったので、例えばどういう状況になれば受け入れる体制にするとか、何かそういう条件みたいなものとかって今定まっているものってありますか。

○ 市 長 先ほど言いました4つの施設が稼働しているのですが、3つがかなり老朽化をしている状況で、能力的に廃プラ処理に対応ができるか。あとは普段処理している処理量なども鑑みながら受け入れが可能かどうか、あるいは受け入れが可能ないタイミングもあるかもしれないし、それがいつなのかというようなことも含めて、今後、こういった要請をいただきましたので、さらに検討していきたいと思っております。ただ、現状としては、概略的に見ると3つの施設は古い状況もあって、かなりフル稼働しているという状況がございますので、なかなか簡単なことではないという認識を持っております。

○日本経済新聞 そういう意味で言いますと、前向きに検討しているというよりは、ちょっと難しいかなというような感じですか。

○ 市 長 全体の状況の中で、現在市内の産業廃棄物等の状況などを見ていると、おおむね大きな問題にはなっていないのかなという認識は持っておりますけれども、今後条約の締結等によって、どういった影響が産業界、あるいは民間の産業廃棄物処理業者に出てくるのかということが、必ずしもまだ明確に見えている段階ではありませんので、その中でさらに精査をして、検討していく必要があると思っております。

○日本経済新聞 いつごろまでに決定するかとかというのは決まっていますか。

○ 市 長 ちょっとまだいつまでとは言えないですけれども、いずれにしても、年間通じて処理量が大体ございますので、その中で空くタイミングがあるのか、あるいはその産業廃棄物を受け入れて焼却したりする場合、そこから出されるエネルギーが、その周りの炉に対する影響なども、十分精査をしていく必要があると考えておりますので、一定期間は必要になると思っております。

その他：市職員の不祥事について

○ 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。

大変お伺いしづらい質問で恐縮なのですが、市職員の不祥事が相次いでいる件についてお伺いいたします。

新年度に入りまして2カ月半、これまでに職員の不祥事の報告が相次いでおりまして、市長部局以外でも、教育委員会、消防局、詳細は割愛しますが、飲酒運転ですとか窃盗、公金の不正支出、わいせつ事件等々、

中には逮捕者も出ています。

市長は、常日ごろ市役所は市民の幸せコーディネーターである、職員は市民一人ひとりの幸せを応援するために働いていることを忘れずに仕事に取り組みなさいとおっしゃっていますけれども、この市長のお言葉と大分かけ離れた現状があると。そのたびに市長が、全職員に綱紀粛正を徹底するというコメントを公表されていますが、非常に空疎に聞こえます。

この現状について、今の受けとめをお聞かせいただけますでしょうか。

○ 市 長 今ご指摘いただきましたとおり、事件・不祥事 (の発生日時) そのものは、今年度に入ってからというよりは、それ以前のものではありますが、非常に連続してさいたま市の職員の不祥事、あるいは事件が相次いでおります。本当に私自身も、大変憂慮しているところであります。

特に消防の職員であったり、あるいは教員であったり、これは子供たちにとっての影響もものすごく大きくあると思っています。消防職員については、消防フェアなどでもその制服を着て、憧れの職業として子供たちには映っている存在であり、また教師の方々については、まさに子供たちを直接指導していく立場にある方々でもあり、その影響ははかり知れないものがあると考えています。あるいは、そういったそれぞれのやっている役割、また職業としての重みをさらに十分に認識をして、一人ひとりが職務に当たっていただかなければならないと思っております。

業務外のことがかなり多いわけではありますが、これは仕事の間だけではなくて、一人の人間としてもやはり身を正して、犯罪を起こさないというのは、どの職業についていても同じことが言えると思います。しっかりとこれを再度私自身、幹部職員だけではなくて、コンプライアンス副責任者と、それからコンプライアンス推進員という現場責任者がおりますので、その責任者を集めて直接話をして、そしてさらに綱紀粛正ということについてしっかりと話をしていきたいと思っております。

市民の皆様には大変ご迷惑をおかけし、また多大なるご心配をおかけし、大変申しわけなく思っているところであります。

○テレビ埼玉 では、どうもありがとうございました。

以上をもちまして本日の記者からの質問を終了させていただきます。

○ 進 行 以上をもちまして市長定例記者会見を終了させていただきます。

なお、次回の開催は、7月12日、13時30分からです。本日はありがとうございました。

午後2時07分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。